

植えて、ここは広い公園にしましよとなつたんだそうですね。ところが、実質的には全部雑木がぼんぼんふえてしまって、見えない形になってしまっている。そういうことからいって、そこで終わりじゃなくて、やはりそういうことを実際に整備するならするということを実践していくということが、いわば地区住民との信頼関係ということになるのではないかと思うのです。ぜひその点をもう一度市長に、基本構想の説明なんかでも多分地区で出たのではないですか。そういうことも含めて、時間もかかる、あるいは先ほど言ったように、残土を入れたり、いろいろしなければいけないというのは、これもわかります。ゲートボール場とかペタンクでは非常に整備いただいています。それはわかっているのです。わかっているのですけれども、そういう意味で私は申し上げているので、ぜひ市長のお考えをお伺いしたいと思います。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 実は基本構想のときの各地区の座談会等でも各地区の課題が随分出されました、それは。そういったものもこれから協働でやっていきますというご答弁をさせていただいたつもりであります。やはり前は迷惑施設だから、これは行政が全部やってくれというような形のあれが残っておったのですね。それはそれとして、しかし、本当に今の状態で、桜を植えながら雑木を抑えていく、あるいはこの地域の整備なんていうことになる、行政だけでやる、あるいはそれを発注して建設会社等にやらせるということの方が、というよりは、もう河井なんかは自主的に自分たちで草を刈って、自分たちで整備して桜の木を植えてというところもありますから、やはりそういった、それを全部五十川さんをお願いしますとは言いませんけれども、やはり協働で具体的なプランをつくって、まだ足りな

いところの低い土地なら低い土地を埋めて、あそこはもう少し大きくするつもりだったわけですが、今のところ私はないと思いますね。それから、おっしゃるとおりで、コンポストについて言えば、これはこれからもう置賜の全域の問題として、あるいは県内の問題として広域的に取り組む時代ですよ。長井市だけでやるということではありませんから、やはりこの時代の整備はどうしたらいいかということも十分住民の皆さんと相談しながら、あそこの整備に取りかかりたいというふうに思います。

谷口栄子議員の質問

鈴木良雄議長 次に、順位7番、議席番号4番、谷口栄子議員。

(4番谷口栄子議員登壇)(拍手)

4番 谷口栄子議員 9月定例会に通告しております3点について、質問させていただきます。

通告しております1番目の質問は、長井市の観光についてであります。5項目について順次質問させていただきますので、市長、商工観光課長のご答弁、よろしく願いいたします。

長井の観光は「水と緑と花」をキャッチフレーズにして、4月下旬が見ごろの久保の桜まつり、5月中旬から下旬が見ごろの白つつじ祭りに合わせての黒獅子まつり、6月下旬から7月上旬が見ごろのあやめまつり、さらに、8月の水まつりにあわせて市民大花火大会の開催が大きな事業で観光の目玉となっております。ことし3月、観光協会に女性部会が発足し、19名の会員の一人として活動しております。春の桜まつりから現地に集まったの会

合を開き、みんなで意見を交換しました。こ
 としは4月12日から25日までが置賜さくら回
 廊で定めた久保の桜まつり期間でした。4月
 20日、夕方、久保の桜のもとに女性部が集い、
 初めての会合を開きました。天気はよいので
 すが、肌寒く、風もだんだん強くなってテン
 トががたがた揺れてきました。桜はまだ見ご
 ろとは言えませんでした。久保の桜周辺の整
 備について、観光客を迎える立場で意見が出
 ました。トイレの水洗化、仮設トイレ設置時
 の目隠しの工夫、腰をかけるベンチの不足、
 ぼんぼりの不足が上げられました。置賜さく
 ら回廊のパフレットは、南陽市、長井市、
 白鷹町の観光協会が企画し、作成されました。
 数々のコースの中に夜桜ツアーとして、4月
 16日から25日までの10日間、ライトアップさ
 れた烏帽子山公園、久保の桜、釜の越桜、十
 二の桜、山口の奨学桜をめぐる、夕食つきで
 バス、列車どちらも大人3,800円、子供3,000
 円の格安で楽しいツアーも組まれました。

+

私は、21日夜、釜の越桜に行ってみました。
 2年から3年の間に釜の越桜の周辺は屋根つ
 きの売店もでき、テントのお店も数店あり、
 ベンチも多く準備してさま変わりをしてお
 りました。売店で物を買ったらゆっくり座って
 食べてくださいとの思いが伝わってきました。
 また、十二の桜には初めて行きましたが、こ
 としから舗装された広い駐車場、水洗トイレ
 が完備されておりました。十二の桜の周り
 には黄色い水仙の花がたくさん植えられてお
 りました。久保の桜の周辺とは雲泥の差を感じ
 ました。久保の桜の周辺をもっとしっかり整
 備し、国の天然記念物の指定に恥じない取り
 組みでなければと感じたところです。白鷹町
 の釜の越桜、十二の桜と比べて、訪れる観光
 客へのサービスの差を感じました。もてなし
 の心を初め、久保の桜周辺の環境整備につ
 いて市長のご見解をお伺いいたします。

次に、つつじ公園北側駐車場トイレの水洗化
 についてであります。

5月中旬から下旬に、樹齢750年の古木の白
 つつじと3,000株の白つつじが見ごろを迎えま
 す。つつじまつりが始まる前に、公園周辺の
 女性代表の方々、あら町、神明町、片田町の
 皆さんと意見の交換会を持ちました。つつじ
 まつりに対してや公園に対する意見がいろ
 いろ出されました。噴水の水が汚れていること
 や、公園のせせらぎの水が汚れていること、
 ごみが落ちていること、北駐車場のトイレが
 汚れていることやにおいが周辺に漂っている
 ことが出されました。その後、みんなで清掃
 する日を決めて、せせらぎをタワシでこす
 ってきれいにしました。つつじ公園委託会社
 の方にも参加してもらい、草むしり、ごみ拾
 いも行いました。ほかのボランティアの方も親
 子で手伝ってくれました。ぼさぼさと暑苦
 しく生い茂っている椿の木もカットしてもら
 いました。刈り倒しただけの草を集め、芝生
 の上を歩きやすくしました。北駐車場のトイレ
 も清掃しましたが、用具が壊れていました。
 古いくみ取り式のトイレなので、水洗トイレ
 にすべきではとほだれもが思い感じるところ
 です。障害者、高齢者も安心して使用できる
 トイレに直すべきではないでしょうか。つつ
 じ公園は、咲き始めるとあっという間に茶褐
 色になり、花が散ります。5月最終土曜日、
 日曜日の黒獅子まつりに女性部会でバザーと
 売店を開きました。市役所前の通りはいろ
 りなグループがテントを張り、売店を開きま
 した。土曜日は天気もよく、人出もありま
 したが、日曜日は雨が降って残念ながら人出
 も少なく、バザー、売店の収益も少なかった
 ようです。女性部会の活動費をみんなで働
 いたのです。

+

6月に入ってあやめまつりの始まる前に、あ
 やめ公園周辺の女性代表の方々、横町、十日

町、高野町、大町の方との懇談会を大町公民館で開きました。あやめまつりには余り関心はなく、子供が小さいときに行っただけとか、昔のように高台に売店があればよいとか、多くの皆さんが同じ意見を持っておられました。そのほか、高台からは暗くてあやめ公園に行く人がいないとか、高台の木々が高く生い茂り、子供の遊具があるのに物騒だとの声も出されました。懇談した皆さん方や観光協会理事の皆さん、自民党青年部の皆さんと高台清掃をし、草むしり、竹のさくの修理等、木々の剪定、あじさいの花の枯れ枝を切り、歩きやすいようにしました。高台もあやめ公園の一部との思いで取り組み、きれいにしました。年間を通して高台の管理清掃をどうしているのか、花畑もあるのですが、植えられておりません。商工観光課長にお伺いいたします。

8月7日の水まつりは、天気恵まれ、多くの方が参加。昨年からは浴衣で参加しようと呼びかけられ、浴衣を着た若い人たちが集まって盛大に行われました。長井市民一軒一軒からの協力金、企業からの寄附金のおかげですばらしい水まつり、花火大会ができたと思います。女性部会も2回目のバザー、売店を開き、終わってから後片づけ、ごみの分別を観光協会の皆さんとその他多くのボランティアの方々、職員の方々で行いました。次の日、早朝もまた水まつり会場を掃除しました。帰りがけ、つつじ公園の北駐車場に寄りました。ここはたばこの吸い殻や子供の花火の残品、缶ビールの空き缶が散らばっており、環境長井のまちとは言えない状況でした。花火大会は市内のどこからでも見るができますので、ほかにもごみの捨てられていたところがあったと思います。私は、水まつりの次の日を「環境のまち・長井の日」として、全市民が自分たちの地域のごみを拾うクリーン作戦

の日と決めてはどうでしょうか、と提案したいのです。いつもきれいなまち長井のアピールは、長井市全体が公園構想の視点で地域づくりに取り組み、自分たちの地域の環境を守り、管理することにあると思います。いつでも観光客を迎えることのできるまちづくり、四ツ谷地区で取り組むフラワーロード方式、また、各地での花いっぱい運動の取り組み、環境都市長井のまちづくりのアピールとなっていると思います。四ツ谷地区で活性化事業を活用し、ことしの公民館活動として、6月26日、婦人部主催のガーデニング講習会を開催。鉢植えのガーデニングで我が家の玄関を飾り、花壇に植栽し、フラワーロードへと展開しています。

長井にはまだまだ多くの観光資源があります。卯の花温泉、長井ダム、文教の杜、郡役所、最上川の千本桜、最上川河川緑地公園の花畑と噴水、不伐の森、西根の菜の花畑など、長井の観光を新しい産業に守り育てることがこれからの課題ではないかと思えます。この点について、市長、商工観光課長の見解を伺います。

市長にはさらに、8月末から9月上旬にかけて、萩公園の白い萩、赤い萩がきれいに咲きます。ことし4月に市民待望の卯の花温泉萩の湯がオープンし、萩公園が一部取り壊されました。長井の花公園として親しまれている萩公園の今後の整備について、お聞かせください。

次に、2番目の質問に入ります。防災対策について伺います。4項目について順次質問させていただきますので、市長、消防主幹のご答弁をよろしく願います。

毎年9月1日を防災の日と定め、ことしは8月30日から9月5日までが防災週間となっております。地震、台風、洪水、火災、このような災害はいつ起こるか予測がつきません。

+

ことは次々と大きな地震、台風が起こり、台風15号、16号、そして18号が山形県に最接近いたしました。7月17日には水害が長井の地で発生しております。全国的にも災害が発生した場合、高齢者や障害者の被害が目立っています。日ごろから災害に備えて防災意識を持つことが大事と言われます。毎年、防災訓練に参加してきても、いざというときの対応はそれぞれの立場でどのように認識できているかです。

東京の東村山市に「自分の地域は自分たちで守る」意識を広げる井上邦治さん、77歳がおられます。東村山市の諏訪町の自治会長を務めて12年、7年前に井上さんが音頭をとり東村山市内で初めて自立防災隊を結成し、昨年まで隊長を務められていました。防災隊は、情報連絡部、初期消火隊部、救出救護隊部、避難誘導部、給食給水部が設けられ、25人で構成されているようです。災害時における人命救助、初期消火への対応に備えて、隊員の防災学習、都内消防館の視察、救急救命講習会、毎月練習日を決めて消防ポンプの操作、放水訓練等自主防災害の技量のアップを図っております。地域住民への防災訓練への参加呼びかけ、震災時の心得として特にお年寄りや障害者の方は被害に遭いやすいので、地域の住民の協力が大事であると、みずから高齢者、障害者のいる世帯の把握にも努められております。

また、和歌山県橋本市には倉田ウタノさんという74歳の方がおられ、40年間余りも婦人消防隊の隊長を務め、防火・防災意識の啓発に尽力されておられます。「災害は一時にして人々を不幸にします。それだけに地域に広く防災・防火の意識を根づかせたい」と語っておられます。男性が仕事で不在になる昼間、地域の防災、防火を担うのは主に女性。そだけに女性の防火・防災意識の向上が地域の災

害被害を未然に防ぐのに大いに役立っているとのこと。初期消火訓練、各種の防災訓練や消防職員を招いての防火・防災講習会、火災予防の夜間パトロールなどを行っているようです。また、豪雨時や台風時は地域を流れる山田川の水位の監視、行政とも連携して各家庭の要所に消火器設置の推進を図り、平成7年には阪神淡路大震災の折に、隊員と一緒に現地へ行って炊き出し、ボランティアで活躍されておられます。助け合いの輪を広げたいと元気いっぱい倉田さんです。二人の方からは大変大事なことを学べます。

長井市、飯豊町、白鷹町、小国町の1市3町の西置賜行政組合消防本部防災センターが長井市平山にあります。昨年、夏休みに四ツ谷地区親と子の会が見学しました。ことし7月末、四ツ谷地区ミニデイサービスよつば会で、飯澤防災センター所長の出前講習が行われ、防災・防火に対する心構えを話していただきました。消火器や燃えないエプロンなどを持参されてのお話にも、また、市内の火災の様子、原因等も詳しく話していただき、わかりやすい出前講座を実施されています。市内の多くのミニデイで呼んでいただき、話していただきたいと思います。災害時高齢者、ひとり暮らしの方への対応は、先の体験の中にありました地域のネットワーク、助け合いの輪を地域でどのように工夫していくかが課題と思います。また、いざというときに備えてなども出前講座の中で実際に実物を準備し、啓蒙してほしいと思います。1番目の防災意識の啓発について、2番目、いざというときの備えの対応策について、3番目、災害時ひとり暮らしの方への対応について、市長に見解をお伺いいたします。4番目の防災センター見学状況については、消防主幹にお伺いいたします。

最後に、長井市制施行50周年記念事業の第九

の取り組みについて質問いたします。

小林研一郎氏指揮で東京芸術大学オーケストラ、長井コンサートが10月17日、公演となります。50周年の記念事業であり、ことし最大のイベントであるわけです。市民の方が文化会館使用の確認をしたとき、8月の土曜日、日曜日は第九の練習で使えないと言われてきたとのこと。10月公演まで土曜日、日曜日の練習が行われているようですが、どのような練習をしておられるのか、練習状況をお聞かせ願います。また、入場券の啓蒙、推進について、どう取り組んでおられるのか、市長と教育長にお伺いいたします。この日はマラソン大会も行われます。文化生涯学習課で二つの大きな事業が重なることとなります。取り組みについて、文化生涯学習課長にお伺いいたします。

以上で壇上からの質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。（拍手）

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 ご質問にお答えを申し上げます。

まず、久保の桜についてでございますが、まずその前に、谷口議員も非常に積極的に参加されておられる観光協会の女性部の皆さんが、非常にこのごろ、このごろというのではないですが、発足されてからあらゆるところにバザーに出ていかれたり、視察をされたり、非常に活動が活発化しておられるということに対して、まず心から敬意を表したいと思いません。

そこで、久保の桜周辺環境整備につきまして、確かに過去公園構想というのもあったようでありますけれども、まず問題はやはり駐車場ではないかと。これが一つね。それから、やはり公民館建設等で一体的に整備の一つの具体的なものがあるのではないかと。今の公民館が非常に手狭であり、古くなって、伊佐沢の皆さんは公民館活動が非常に活発であり

ますので、これはやはり新たに、そして、そこを整地したら、駐車場とかいろいろな、まず順序をつけてやれという地元の皆さんのお話でありまして、この皆さんのお話をよく聞きながら、具体的に一つずつやろうということに今なっているところでもあります。駐車場についても非常に手狭であることは確かでありまして、地域の皆さんのボランティアで土、日なんかは誘導等もしていただいておりますし、それから、この駐車場も大きいところは農協なり、世田谷工業さんなりの近くに誘導していただいたり、あるいは地域の近くの皆さんの庭先もお貸しいただいたり、いろいろな工夫をしてやっておられるわけでありまして、敬意を表したいと思えますし、三春の滝桜なんかは駐車場はありますけれども、むしろかなり遠くの方に行って、わざと歩かせる。そして、ぐるっと回らせてから疲れたころにお茶でも飲めと。それから、余り売れない歌手の何回かのあれがあったり、いや、売れない歌手と言っただけじゃありませんけれども、そういうのがあったり、非常にうまいですよ、あれね。周辺になんかとまらせないようにわざとしているのではないかというぐらいに、非常に工夫をしていらっしゃると思いますので、いろいろな皆さんとご相談をしながら、この1週間から10日というところを乗り切りながら、将来どうするかというところで具体的に詰めているところでもありますので、ご了解をいただきたいと思えます。

つつじ公園につきましても、いろいろボランティア等、ありがとうございます。ご指摘のトイレの水洗化は、関係部署に聞きますと、相当金がかかる話なのですね、これね。まず1,000万から2,000万ぐらいかかるかなと、あれだけをやっても。ということでありますので、防臭対策等は、これはやはり早急に、今のおい消しなんていうのは結構ありますか

+

ら、こういったものは早急にやりながら、年次計画を立てて整備させていただきたいというふうに今思っているところであります。

3番目のあやめ公園の高台と管理についてですが、これは公園作業員が管理を行っておりますが、確かに十分とは言えない状況であります。その中で、市内の各団体の皆さんからボランティアで除草等のご協力もいただいております。これも大変ありがたいと思っております。公園作業員が管理を行ってまいります、ボランティアのお気持ちを大事にして、よりよい公園をつくってまいりたいというふうに思います。

これはちょっと脱線するかもしれませんが、私は小さいころ、あそこに行ってサーカスを見たり、ろくろ首を見たり、非常にお店があって、あそこから入るのが非常にやはり主流だったのですね。一つ一つの公園化と言われればそうかもしれませんが、全体の構想から言えば、あそこはという、前のようにというのがあるのですよ、これは。同じように長井線について言えば、大塚駅に隣接していればというのは、ほかの市町村だけじゃなくて、そうならばというような声もありますから、やはりそれはせんないことを繰り返すつもりはありませんけれども、行政がやるということは、しっかりと見通しを立ててやらなければ大変なんだと。今は公園の高台のところなんかは、地域の皆さんに聞くと、やはり若い皆さんが夜集まってくるところになっているというのですね。かえってもう夜なんかは公園ではおっかないぐらいなんだという話になると、どうしようかなということをややはり考えなきゃいけない時になっていると思います。もっと明るくしなきゃいけないということもそうでしょうし、まず、残念な気持ちを持っておりますが、現状の中でよりよい公園を目指してまいりたいというふ

うに思います。

はぎ苑につきましては、昨年、はぎ苑が頑張っていたいて、昨年からことし4月の27、8から温泉開発、それとあわせて公園部分も土地を取得したいというふうに申し出がありましたので、ぜひひとつ公園の景観に配慮して、できればやはり露天ぶろのときにその公園も見れるようにしたいということだったのですね。ところが、いろいろな配慮が出てきて、よしずを張らないとだめだとか、男性の場合の露天ぶろはもっと開放的でもいいのではないとか、料金を払わないで入ってこられるのは困るとか、いろいろなことがあって、ちょっと景観を完全に見れるようなものについては、はぎ苑自身も不満だそうです。が、やはりこの景観に配慮をして維持管理をしていきたいということですので、はぎ苑とも今後話し合っていきたいと思っております。

谷口議員の全市公園構想、あるいは観光都市長井のアピールと。骨子はそのとおりだと思います。先日、谷口議員もお聞きになりましたか、東京大学の堀先生の、いわゆるまちづくりについてですね。まちというのは道路と建物だと。ところが、道路というのは全部車優先になっちゃっていると。失敗している例がいっぱい多いと。逆に、しかし、成功している例は、ヨーロッパあたりはもう10年ぐらい前からあちこちであるんだと。人々が散策できる、歩くことができることをまず第一に考えて、それから、時間帯等で多少調整はできますが、そうしなきゃいけない。建物等もやはり人が入ってみたいと思えるようにしなきゃいけないというふうなお話だったと思います、具体例を挙げながら。私はやはりいいお話だったなど。特にこれから本町の街路事業等については、本町の皆さんも非常に参考になったというお話でありますから、そし

て、なおもう一つ大事ななのということで堀先生が「ホスピタリティー」と言われました。ホスピスというのは知っているけれども、ホスピタリティーというのは病院かなとか何とかと思ったら違うんですね、やはりね。おもてなしの心だというふうに言われましたけれども、あの人は駒方どぜうのにおいをかぎながら育て、今、門前仲町で東京の中で一番真ん中というのは、古い深川のイメージを持ちながらやっているところなんだよ、今度遊びに来いと言われましたので、ぜひ行ってみたいと思っていますが、まちなかのこれからのまちのつくり方というのですか、道路、建物、そしておもてなしの心、この三位一体という言葉がいいかどうかわかりませんが、その三者がやはり一緒になって、ハードな面とおもてなしの心のソフトの面を充実していかなければならないのではないかと。そういったところを具体的に街路事業等でも生かしていきたいし、これからのまちなか整備に生かしていかなければいけないのではないかとこのように思っているところであります。

防災訓練についてであります。これはやはり毎年1回、消防団の分団ごとにやっております。市内6カ所になっております。公民館単位等になりますと、これはやはり動員も大変ですし、公民館は公民館でいろいろな事業がありまして、文化祭等ともかち合うこともとしなんかはあるのです。土、日でないとなかなか参加できないというところもありまして、いろいろな意味で、まずこれまでの市内6カ所で地域の皆さんが参加していただけるように、ぜひ工夫をしてみたいというふうに思います。

なお、身近な訓練ということでは清水町の皆さんが地区安全推進運動連絡協議会を設立されて、交通安全や防犯だけでなく、災害対応についても担当者の役割を分担されていると。

それから、この動きは平野地区や中道地区にも広がりつつあるということをお聞きしております。このほどこの地区全体でこれからも取り組もうという意識がどんどん向上しているようでありますので、そういった具体的な地域の皆さんと協力して、ご支援をしながらそういったきめ細かな分野にも対応していきたいと思っております。

いざというときの備えについてですが、もちろんハードの面の整備が必要であります。ことしはやはり財政再建の一番厳しいときということで、正直申し上げまして、資機材購入費は2万円です。土のう袋を購入する程度であります。余りにもひどいということで、50周年もあります。協同薬品さんが救急車を1,875万で寄附してくださるとか、民間の皆さんも非常に協力をしていただいております。だからといって、これが今のままで2万円がいいということではありませんので、順次整備をしていきたいというふうに思っております。

問題はやはり災害時、高齢者の方やひとり暮らしの方の対応が訓練なんかでも今まで余り重視してこられなかったのです。長井のようなところは、郡部は割合に3世代同居とか、核家族が非常に少ないですから、まだいいと思いますけれども、そうは言っても少しずつふえてきた。まちなかはもちろんであります。新潟や福井なんかを見ますと、やはり対応がおくれ、逃げおくれ、後で救出に向かうというのが高齢者の方々とかひとり暮らしとかという方が非常に多かったですね。犠牲もそうあります。今回なんかも屋根が抜けると。それでは住んでいられないからと思って、屋根を直そうとして、かえって屋根が吹き飛ばされただけじゃなくて自分も吹き飛ばされて命にかかわったなんていうのが多いのが非常に悲惨だと思いますし、問題だと思っております。

+

まして、やはり高齢者の方をしっかりとフォローした訓練というのがこれから必要なのではないかと。この間の防災訓練の説明会でもそういった意見も出ましたし、それを組み入れていくということで、これからさらに充実してまいりたいというふうに思っているところであります。

防災センターの見学状況については、消防主幹から申し上げます。

第九につきましては、具体的には市民文化会館長あるいは教育長が頑張っていると思いますが、今はもう週3回一生懸命約200名の方が練習されておるといふふうにお聞きしました。非常にある意味では素晴らしいことだと思います。3,000円ですか、入場券等についても、参加する方が今度は一生懸命何枚か券を分担してということで、私は3人の方に勧められましたけれども、それはそれで私ができる範囲でご協力をしなければいけないし、議員の皆さんにも市民の皆さんにも、ぜひ歌うだけでなく、券を購入してみていただくと。成功するよというふうにぜひお願いをしたいと思います。具体的な練習状況と入場券の販売については、教育長、文化生涯学習課長の館長から申し上げたいと思います。

以上です。

鈴木良雄議長 大滝昌利教育長。

大滝昌利教育長 谷口議員のご質問にお答えをします。

ご質問の内容は、第九を歌おうの練習状況と入場券の啓蒙推進についてということですが、全体的には文化生涯学習課長の方でお答えをします。私の方からは第九にかかわった児童・生徒のかかわりについてお答えをしたいと思います。

小林研一郎先生というのは大変有名な指揮者でありまして、また、東京芸大オーケストラというのは滅多に外に出ないオーケストラで

あると聞いています。それだけに児童・生徒にも聞かせたいという願いがあるわけですが、入場料が3,000円、当日せり出しができて全席で800席ということで、その中で30席の招待席がありますけれども、恐らく今の状況ですと、当日、児童・生徒が入るすきがないのではないかなというふうな考えを持っています。そこで、前日、10月16日に行われるリハーサルを児童・生徒に公開をするという方向で検討をしています。芸大の許可があれば、土曜日で学校の方は休みの日になりますけれども、各学校対応で本当に聞きたいという希望の児童・生徒、高校生も含めてですけれども、聞かせたいと。教育委員会としても、校長会を通して各学校に働きかけをしていきたいというふうに思っているところです。

以上です。

鈴木良雄議長 那須宗一商工観光課長。

那須宗一商工観光課長 谷口議員のご質問にお答え申し上げます。

あやめ公園の高台の管理についてということでしたが、先ほど市長からもありましたとおり、高台の管理につきましては、公園作業員が行っております。ただ、やはりどうしても細かいところまで手が回らないといった現状があるのも事実でございます。そういった中で、先ほど谷口議員さんからもございましたとおり、地域の方々や市内の各団体の皆さんにボランティアで清掃などを行っていただきました。大変ありがたく感じているところでございます。今後におきましても、公園作業員による日常管理は当然行ってまいります。ボランティアの皆さんのご協力もいただいて、よりよい公園にできればというふうにご考えておりますので、よろしくごお願い申し上げます。

もう1点でございますが、長井ダムなどの新しい観光資源をどのように活用していくかと

いう部分でございますが、やはり議員ご指摘のとおり、新しい観光資源につきましても、花とのかかわりを考えながら、一体的に市の観光資源として売り出していく必要があるのではないかなというふうに考えておりますので、今後とも皆様方のご助言等をいただきながらPRに努めてまいりたいというふうに思います。

以上でございます。

鈴木良雄議長 鈴木国男消防主幹。

鈴木国男消防主幹 防災センターの見学状況についてお答えいたします。

防災センターは平成11年6月に開設され、5年間15年度まで経過いたしました。入館者数はトータルで約1万2,300人程度となっております。西置賜の住民の皆様を中心に年間約2,000人の皆様が来館し、防火・防災研修の場として活用をいただいているところであります。本年度は専任の職員を配置し、来館者をただ防災センターで待つのではなく、積極的に住民の皆様と防火・防災について言葉のキャッチボールができるよう、職員が地区公民館などに出向き、防災センターの存在を住民の皆様にお知らせし、あわせて住宅防火についてお話をすることで家庭からの出火防止を図りたいということで、出前防災センター、防火・防災教室を開催しております。6月から実施していますが、今後の開催申し込みも含めてですが、9月5日現在で36カ所の地区やミニデイなどの団体より希望がありまして、延べ人数1,644人の皆様に実際に防災展示館の存在と、それから、防災展示館に展示している住宅防火機器、消火器などを持ちながらお知らせをしている、そして、お話をさせていただいているところです。その結果、本年度の防災センターの利用者数が、婦人会の団体、さらには家族ぐるみ、それから小学生の友達ぐるみなどにより、現在で大人が604名、子供

が350名、954名の来館者となっております、昨年度より増加の傾向となっているというふうに思います。今後も年齢や業種に関係なく、幅広い広報活動を展開し、防災センターは家族や友人同士など、いつでもだれでも気軽に入れる施設であることを多くの皆さんにお知らせをしながら、防災展示館の利用をしていただくことを図っていきたいというふうに思っているところです。

以上でございます。

鈴木良雄議長 平 進介文化生涯学習課長。

平 進介文化生涯学習課長 それでは、私の方から第九の練習状況と入場券の取り組み、そして、長井マラソンとのかかわりについてお答え申し上げたいというふうに思います。

まず、第九の練習状況ですが、曲目につきましては、ベートーベン交響曲第9番、二短調作品125ということで、合唱の方はソプラノ、アルト、テナー、バスの四つのパートに分かれまして練習し、全体練習も行っております。そのパート練習ですが、6月から9月いっぱい58回開催いたしております。毎回2時間の練習ということで、6月につきましては、パート練習19回、全体練習3回、合計22回、22日の練習日というふうになっております。大変過密な大変なスケジュールというふうになっております。最終まで77回のパート練習なり全体練習で本番を迎えるというふうな日程になっております。練習会場につきましては、文化会館のほか、旧西置賜郡役所も開放して練習していただいております。市民文化会館の施設は、特に今回の第九の練習優先ということで充てさせていただいております。

東京芸大オーケストラについてですが、芸大の一行120名の予定です。オーケストラ73名、芸大の音楽科29名、そのほかスタッフ、大学部長、教授等でございます。10月17日、本

番なわけですが、15日の金曜日の午前中、長井においでいただきまして、その夕方からオーケストラの方のリハーサルを行っていただく予定です。また、16日の土曜日につきましては、全体のリハーサルということで、先ほど教育長からありましたように、ここで小・中学生、高校生の無料招待というふうなことで、見ていただければ大変勉強になるのかなというふうに考えております。そして、当日の17日、午後3時から開演になるわけですが、午前中がゲネプロということで本番と同じようなりハーサルを行うというふうな予定になっております。

その合唱団の方ですが、今回公募いたしましたし、5月中旬から6月の初めまで募集いたしました。6月時点での人数については184名でした。その後、パートごとに分かれて練習を開始し、最終的にまず譜面を見ずに歌えること、ドイツ語の原語で歌うこと、そして、小林研一郎さんの指揮で行うわけですが、その指揮を見ながら歌うことというふうなことで、市民参加型なわけでありましたが、芸術性を高めたいというふうなことを目標に練習を重ねてまいってこられました。そのために、応募者全員に往復はがきで最終的に参加の意思表示の確認をとったということでもあります。その結果、公募によります合唱団は9月時点で、これは確定ですが、146人というふうになりました。それに芸大音楽科の29名が加わりまして、総勢175名での合唱団の規模というふうになります。長井市からのほか、米沢、南陽、上山、この辺からの方もいらっしゃるというふうにお聞きしております。

チケットですが、今回はオーケストラ、それから合唱団というふうなことで大勢でございますので、仮設ステージを設置したいというふうに考えております。そのために、座席は800席を準備しております。そのチケットにつ

きましては、文化会館のほか、先ほど市長の方からありましたように、団員の方に4枚程度、ノルマではありませんが、お願いするほか、文化協会なり市内のプレイガイド、それからウインドオーケストラ側の方にもお願いしております。そのチケットの第1回の集約日が今月の12日の日曜日というふうになっておりますので、現在の販売枚数は確認できない状況ではありますが、担当の話では、今回のコンサートにつきましては、芸大の演奏であるということ、それから、小林研一郎氏という指揮者、日本有数の指揮者の方がとっていただくということ、そして、市民の合唱団が主役のイベントというふうなことで、会場がほぼ満席に近いのではないかと予想されるというふうに考えておりますが、なおPRといたしまして、今月1日の市報のほかに、9月1日号にも1ページとりまして、50周年記念事業である第九のPRを行いたいと。そのほか、ポスター等も掲示してまいりたいと。また、そのチケットの販売状況によりましては、隣組回覧なども考えていきたいというふうに考えております。

また、当日、長井マラソン大会の日と重なってしまったわけですが、長井マラソンにつきましては、ことして第18回目を迎えます。昨年から10月の第3日曜日に開催しまして、県内外から500名を超える方々に参加いただいている状況でございます。この「第九を歌おう」がこの日に重なってしまいましたが、大変残念なわけですけれども、小林先生の日程の都合上、この日しかなかったというふうなことでございます。長井市におきましては、この長井マラソンも18回目を迎えて、50周年記念として、今回、花作町出身で、現在、日本ケミコン女子陸上競技部の小杉奈美選手と、同陸上競技部監督の泉田監督さんを招待選手としてお招きいたしまして、前日のラン

ニング教室などを行いながら大いに盛り上げていきたいというふうに考えております。

また、「第九で歌おう」も芸大オーケストラ70名を超える演奏と、この4カ月間大変なスケジュールをこなしながら一生懸命努力し、磨き上げていただきました市民の合唱団の歌声が一体となる第九でありまして、まさに50周年記念にふさわしい長井コンサートでありますので、ぜひ両方成功させていきたいというふうに考えております。その成功に向けまして、市報やポスター、それからホームページ等で積極的にアピールいたしますとともに、議員の皆様を初め、市民の皆様にも多くの参加をいただきながら、思い出に残るイベントにしていきたいというふうに考えておりますので、ご協力のほどをお願い申し上げたいというふうに思います。

以上でございます。

鈴木良雄議長 4番、谷口栄子議員。

4番 谷口栄子議員 市長にお伺いいたします。

地元伊佐沢地区の桜保存会の皆さんたちがご尽力されて、毎年、樹齢1,200年の久保の桜を守り、感動的な花を毎年咲かせてくださっているわけです。見る人に感動を与え、楽しませてくださっているわけで、本当にことしも置賜さくら回廊として、今まで、最初、このような置賜さくら回廊のパフレット、これは何年か前のものですが、ことしはこのような本当に手にすれば行ってみたいと、この桜回廊のこのツアーに参加してみたいというすばらしいパフレットがつけられたようです。それにも増して、やはり久保の桜の方に来てみるとさっぱり変わっていないという環境、トイレ、そういう状況では、本当にもてなしの心というか、せっかくこのような置賜さくら回廊で紹介し、全国の皆さんに紹介していただいている中で、長井市として観光に対する力の入れ方が本当に残念なのは

ないか。それに比べ、白鷹町はあのように釜の越桜、十二の桜、あそこをあのように整備し、おもてなしの心、本当にゆっくり見ていってくださいという思いで整備されている。ぜひ市長には早急に整備をして、もっと多くの方に喜んでもらえる久保の桜の周辺整備をお願いしたいと思いますが、よろしく願いいたします。どうでしょうか。ご答弁いただきたいと思います。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 確かに釜の越奨学桜、山口の十二の桜、それぞれに頑張っていると思いますね。それはそれでそうだと思いますが、伊佐沢の皆さんだって非常に頑張っているのではないですか。それから、おもてなしの心というのは、さっきも言いましたけれども、もちろんハード等の充実は必要ですが、一番大事なやはりそこで触れ合いがあって、感動があって、また来てみようという心があって、あるいは来てよかったなという心があってというところが私はおもてなしの心の一番大事なところだと思っておりますし、それにこの伊佐沢の皆さんは非常に頑張って努力をされています。それから、各出店の皆さんもそれぞれ工夫をしておもてなしの心で頑張っているということでもありますので、そういったことをご理解いただいた上、トイレ等はそれはそれで、あの当時つくったやつで、しかし、整備をきれいにしていけばということもありますし、足りなければもう少し数というのもふやさなければいけないわけですが、一番の問題点である駐車場とかいろいろな問題点を地域の皆さんと毎年反省会等で話し合っておりますし、今後、順次できるところから整備をしていきたいと思っております。

鈴木良雄議長 4番、谷口栄子議員。

4番 谷口栄子議員 7月の新潟集中豪雨では、

+

防災無線を導入していないために避難勧告が十分に伝わらなかった自治体があったということで問題になっております。防災無線導入に関して、長井の状況はどうなんでしょうか。市長にお聞きしたいと思います。

鈴木良雄議長 目黒栄樹市長。

目黒栄樹市長 長井の場合には緊急通報システムというのを、ひとり暮らしの高齢者の皆さんの所帯に貸与して、この基本的に使えるようにというふうにしております。これは範囲は今184件であります。7月17日は1件、清水町の一丁目で野川の増水ということで通報がありました。これはやはりひとり暮らしの高齢者所帯の方から、なおその他でも要介護4の高齢者宅から上地区公民館、いろいろな皆さんからもあっておりますが、こういった今のシステムでありますので、防災無線等も順次検討し、整備していきたいと思っております。

鈴木良雄議長 4番、谷口栄子議員。

+ 4番 谷口栄子議員 最後になりますけれども、すばらしい東京芸術大学特別オーケストラの長井コンサートの大成功をお聞きして、中学生以下の無料30名の限定招待席があるというようなチラシでのご紹介なのですけれども、これにぜひ母子家庭で大変今子供を本物の芸術文化に触れさせようという教育になっているわけです。この機会に3,000円のお金は出せない。だけれども、本当に音楽を通して心豊かになっていただきたいということで、母子家庭のお母さん、子供さんたちなどを招待し、これからの教育に力を入れていただければと思います。その点も教育長の方をお願いをして質問を終わらせていただきます。

鈴木良雄議長 ここで、昼食のため暫時休憩いたします。

再開は午後1時といたします。

午後 0時01分 休憩

午後 1時02分 再開

藤原民夫議員の質問

鈴木良雄議長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

市政一般に関する質問を続行いたします。

順位8番、議席番号15番、藤原民夫議員。

(15番藤原民夫議員登壇)(拍手)

15番 藤原民夫議員 皆さん、お疲れさまです。午後1番の私は、通告してあります3点について市長に質問をいたすものであります。

通告の第1点は、置賜広域行政事務組合の事業として行っている「置賜広域ふるさと市町村圏」基金の保全と管理についてであります。

+ ふるさと市町村圏基金の設立は平成元年度からで、置賜市町村圏の計画的、一体的な振興整備を図ることを目的として、地域総合整備事業債などからの資金調達によってその造成が図られ、それから生み出される果実を事業費に充当するとして始められたものであります。その事業例としては、広域の観点から行われる地域経済・地場産業振興や文化振興、生涯学習、健康づくり・スポーツ活動、高度情報化事業など多様なソフト事業などのほか、広域市町村圏等が事業主体となる公共施設の整備などが挙げられているのであります。そのための基金造成は、平成元年度と2年度の2カ年間で行われまして、地域総合整備債から75%、一般財源25%を充てられ、事業が行われたのであります。2カ年間の合計で10億円となり、その運用益をもって事業費に充当するというものであります。

基金造成の内訳は、山形県が1億円で、残り9億円は3市5町の負担割合に基づいて各3市